

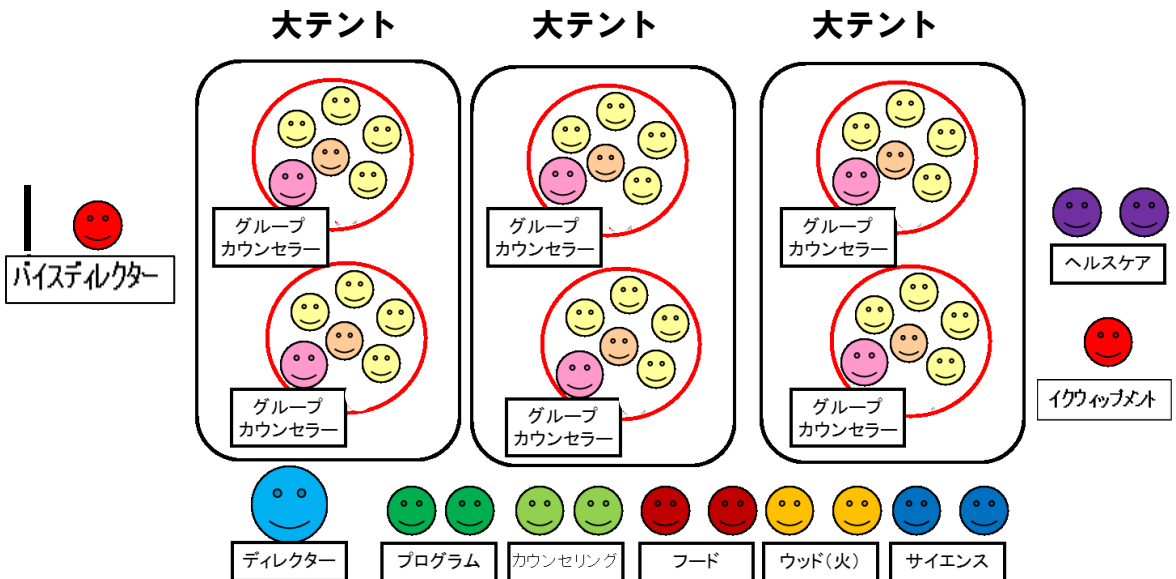
1-2-1-1. 組織体制の基本『隊列』

野外教育における組織体制の基本は冒険・移動・避難等の際に組まれる『隊列』にあります。様々な場面でその場に適した組織が編成され野外活動が進められますが、いかなるバリエーションも、日常の野外生活組織ですら、この隊列の原理を複雑にしたり簡略化したり、適宜応用して組み立てられています。言い換えるなら野外教育の組織原理は隊列にあるといえます。



1-2-1-2. 運営組織の形態と役割

次に、キャンプの運営時に編成されている組織形態を紹介します。これも上記隊列の応用バージョンの一つです。



リスク・マネージャー (RM) / リスク・マネジメント・アシスタント (RMA)

キャンプ全体を通して、安全管理のチェックや、事故の対応に当たります。

オフィス・スタッフ (OS)

一組のキャンプの事務的な責任者です。申込書のチェックや、名簿の管理、緊急時において家庭との連絡などを行います。

ディレクター (D) / バイス・ディレクター (VD)

ディレクターは一組のキャンプの現場総責任者です。安全に、楽しく進行できるように、全体の把握・調整・まとめを行います。キャンプ中のディレクターの指令は、常に遵守してください。バイス・ディレクターはディレクターの補佐をしたり、不在時にその役割を代行したりします。

カウンセリング・コーディネーター (CC) / カウンセリング・アシスタント (CA)

参加者・グループ・カウンセラーの支援・相談を担当する役職です。CCSS（後述）の中心的役職になります。

カウンセリング・アシスタントは、グループ（区）で問題が起きたときにカウンセリング・コーディネーターにより派遣される区をサポート役です。（CCSS 参照）

グループ・カウンセラー (GC)

こどもたちといつも一緒に活動します。

「区」について活動するので、「区の相談員」と呼ぶ場合もあります。

プログラム・コーディネーター (PC) / プログラム・アシスタント (PA)

参加者の計画したプログラムが実現できるようサポートを行う役職です。村民の代表である村長や村会議員と一緒に、キャンプの流れや雰囲気を作っていきます。

ヘルスケア・コーディネーター (HC) / ヘルスケア・アシスタント (HA)

参加者や相談員の健康管理を担当する役職です。主な活動場所は保健室です。

フード・コーディネーター (FC) / フード・アシスタント (FA)

参加者の食事づくりのサポート、食品衛生管理をします。主な活動場所は、炊事場です。

イクイップメント・コーディネーター (EC) / イクイップメント・アシスタント (EA)

釣りの道具やスキー板などの物品管理・キャンプ場の整備などを行います。

ウッド・コーディネーター (WC) / ウッド・アシスタント (WA)

キャンプファイアや日常の火起こしなどの薪や火に関する安全管理や支援を行います。

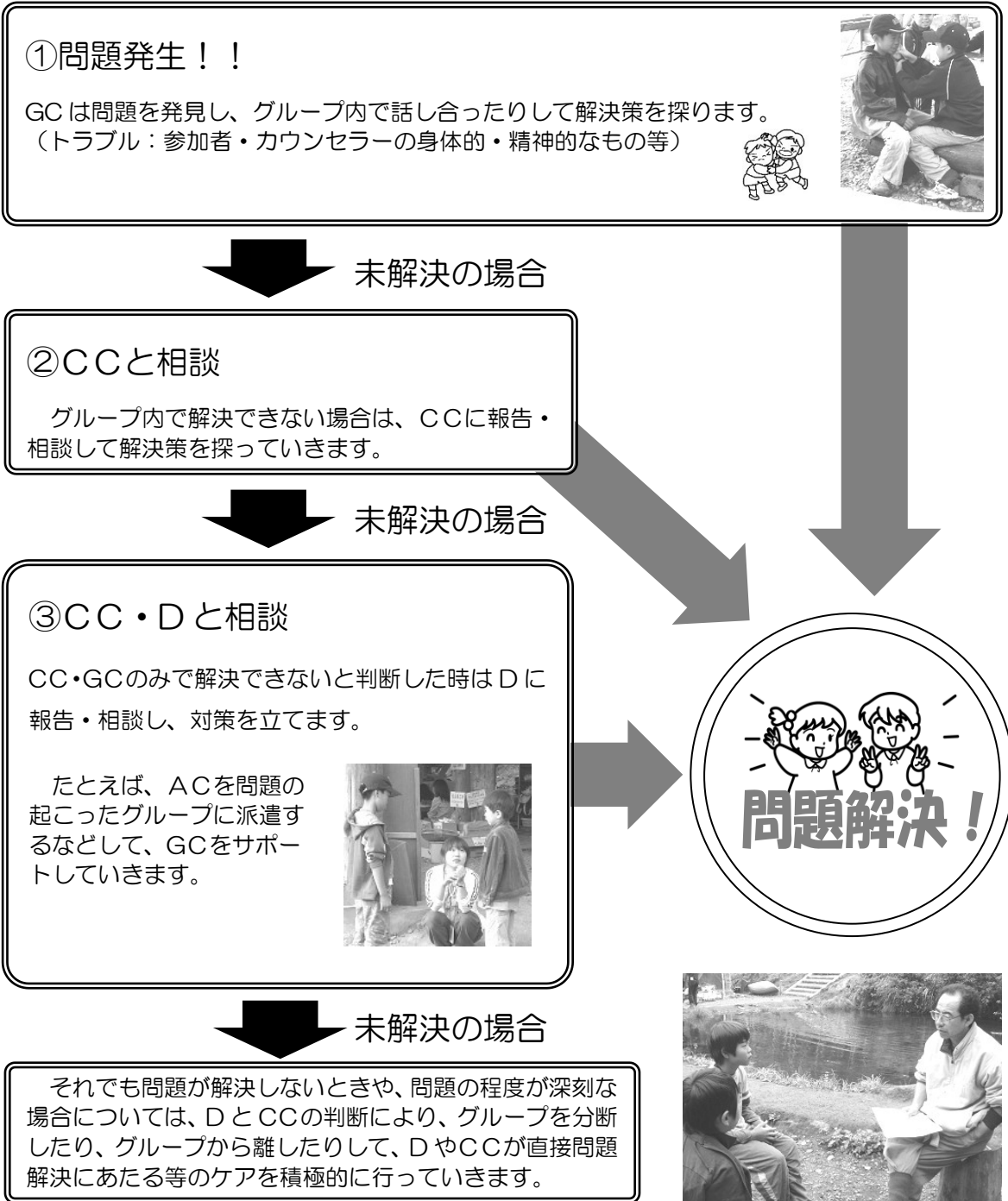
サイエンス・コーディネーター (SC) / サイエンス・アシスタント (SA)

中・上級キャンプのサイエンスプログラムの管理や進行を行います。

1-2-1-3. CCSSとは

(1) CCSSとは

キャンプカウンセラーの組織運営はきわめてユニークです。カウンセリング・コーディネーター（CC）を創設し、CCが個々のカウンセラー（C）をサポートする重厚な支援体制を敷いています。これをCCSS（カウンセリング・コーディネータ・サポート・システム）といいます。下記に典型的な問題解決の流れを示します。





こどもといつも一緒に生活し、最も近い存在になるのが、GC（グループ・カウンセラー）です。悩みを聞いたり、仲間作りの手伝いをしたりしてキャンプ生活を支えます。しかし、人間同士のことで、うまく解決できないこともあります。CCは、カウンセラーの悩みを聞くなどしてGCが楽しく過ごせるようにサポートしていきます。